

夢窓幼稚園通信第81号

2019年 3月 1日

一年中どの月も それぞれ特別な月ですが、3月はその中でもとりわけ大切な月のひとつです。

年度のしめくくりであると共に、新しいおひさまを迎える準備の月でもあります。

目を閉じて 外の世界から流れてくる印象を沈めて、静かにしばらくじっとしていると、メタモルフォーゼを結けるいのちたちが あふれるエネルギーを次に向けて蓄えながら一瞬立ち止まる様子が浮かんできます。

開花の時を待っている花のつぼみ さながらです。

「一年間 ここまで大きく ふくらんでくれたね!」と微笑みたくなります。

そして「おかげさま」と、何かに、誰かに思わず頭をぺこりとしたくなります。

神仏の加護 や ご先祖さまの見守り、地水火風の働き、おひさまや星々の存在、自然の恵み、……そして何よりそれはそれは多くの人々の「おかげさま」で 私たちは生かされているのでしょ!う!

夢窓幼稚園という いのちも同じです。

ここで 2つのご報告をさせていただこうと思います。

ひとつめは、むそうの代表的なおやつである「げんまいおかし」を作って下さっている斉藤製菓の 斉藤寛子が1月下旬におけがをされ入院リハビリ中です。

今後続けられるかは未定とのこと、ことによると難しいかもしれないようです。

一日も早く回復されることを お祈りしたいと思います。

もうひとつの報告は、赤熊農園の判野キヨ子さんのこと
です。

赤熊農園は農薬を一切使用せず、土作りを大切にし自然の
力を信じて、今は亡きご主人の判野宜宏さんが野菜作りを
してこられた農園です。

40年も前よりお漬けもの・切り干しの大根を提供していた
だき、二十数年前より園専用の畑として一部借用し管理を
お願いしてきました。

ご主人と共に給食の野菜作り・お芋掘り等お世話になってきま
したが、「動ける間に娘の元へ!」と、亀岡より九州へと最近
お引越されました。

どうぞ どうぞ お元気で お過ごし下さい。

言い尽せない感謝と共に、「おかげさまで子どもたちが、そして
私たちが、今年もここまでそれぞれらしくこれました。次の時へと
新たな自分として進んでいきます!」と、お礼のお返しをしたいと
思います。

卒園・進級まで、あと10日程、そして次の新入の子どもたち
も やってきます。

風立ちぬ いざ よろこびいっはい生きめやも! です。

園長 升光 泰雄

